

【研究費区分】：研究環

【研究代表者所属】：理学部 化学科 生物化学研究室

【研究代表者氏名】：阿部 拓也

【研究代表者氏名フリガナ】：アベ タクヤ

【研究代表者職】：助教

【研究分担者（所属,氏名,職）】

東北医科薬科大学・薬学部生命科学系、関 政幸、教授

東北医科薬科大学・薬学部生命科学系、吉村 明、講師

東北医科薬科大学・薬学部生命科学系、中林 悠、助手

東邦大学・薬学部、多田 周右、教授

東邦大学・薬学部、津山 崇、講師

国立がんセンター研究所・ゲノム生物学研究分野、荻原 秀明、ユニット長

東京工科大学・応用生物学部、村上 優子、教授

【研究環組織名】：

【研究環 HP】

・なし

【研究環の活動概要と、ここで形成された研究グループ・研究拠点の今後の研究活動について】

・当初の予定ではグループのメンバー全員で研究集会を開催する予定であったが、新型コロナウイルスの流行に実現不可能となった。また阿部が分担者の所属機関を直接訪問することも難しい状況であった（分担者の多くは私立大学のため外部研究者の訪問が原則禁止であった）。その代わりにとして、分担者全員と Zoom によるミーティングを行い、さらに津山博士と村上博士には東京都立大学へ来てもらうことで直接議論を重ねた。本研究グループはまだ立ち上げの段階のため、共同研究の論文や学会発表などの実績には結びついていないが、いくつかのプロジェクトが進行している。具体的には東北医科薬科大の3名とは WRNIP1 とタンパク質の機能解析について共同で研究を進めており、共著論文を投稿中である。東邦大学の2名とはトポイソメラーゼ1の機能解析についてのプロジェクトを開始した。東京工科大学の村上博士とは悪性中皮腫の責任遺伝子である BAP1 の機能解析を進めた。また村上博士からは低分子化合物ライブラリーに関する使用許可をいただき、東京都立大学において3万種類の低分子化合物ライブラリーを用いることができることになった。このように精力的に共同研究に取り組んできたが、研究集会を開催できなかった影響もあり、研究グループとしての活動というよりも阿部と分担者の個々のつながりを開始/強化するにとどまってしまった感じは否めない。今後は研究環によって構築したつながりを元に、グループとしての活動を発展させていきたいと考えている。

【学会発表】

- ・なし

【論文発表又は著書発行（発表題目、著者、発表誌又は出版社、年月）】

・ Pold4, the fourth subunit of replicative polymerase δ , suppresses gene conversion in the immunoglobulin-variable gene in avian DT40 cells.

Kojima K, Ooka M, Abe T, Hirota K. DNA Repair (Amst). 2021

【学会会議開催実績報告】

- ・なし

【海外研究者の招聘実績】

- ・なし

【国際研究環支援や外部資金への応募状況】

- ・なし

【科学研究費助成事業や国等の提案公募型研究費、企業からの受託研究費・共同研究費の獲得状況】

- ・ 創発的研究支援事業 不採択
- ・ 学術変革領域研究（B） 不採択
- ・ 千里ライフサイエンス振興財団 岸本基金研究助成金 採択 200 万円

【受賞等】

- ・なし

【その他社会貢献】

[公的審議会・委員会等の公的貢献、生涯学習支援・普及啓発、国際貢献・国際交流等]

- ・なし

【研究成果による特許等の産業財産権の出願・取得状況】

（産業財産権の種類、名称、出願番号、出願年月日）

・

【研究分担額】

（研究代表者・分担者名,所属,金額（円））

- ・ 阿部拓也、東京都立大学理学部化学科生物化学教室、100 万円